



ダビデは、自分がゴリアテとたたかうと言いました。王様は、ダビデにたたかってはいけないと言いました。ダビデはまだ少年で、ゴリアテは強くて大きかったからです。でも、ダビデは神様が自分を助けてくださると知っていました。ついに王様は、「行きなさい。どうぞ主があなたと共におられるように」と言いました。



ダビデは、ゴリアテのように体を守る武具を身につけていませんでした。ダビデは石を拾うと、石投げ器に付けました。そしてその石をゴリアテのひたいに投げました。ゴリアテはたおれました。ダビデが勝ったのです！自分の民を救ったのです。